572. 大阪市立大学附属病院のオーダーリングシステム (概要)

Hospital information system in Osakacity univ. hosp.

大阪市立大学附属病院中央放射線部
OSAKA CITY UNIV. HOSPITAL

長瀬 敏英 泉 昭生 村上 進 木村 俊彦 今田 君人
NAGASE TOSHIHIDE IZUMI AKIO MURAKAMI SUSUMU KIMURA TOSHIHIKO IMADA KIMITO
吉田 梨影 大村 昌弘 木村 早苗
YOSIDA RIE OOMURA MASAHIRO KIMURA SANAE

〈1 はじめに〉当院では1993年5月附属病院立替に伴い、トータルメテッドホスピタルシステム(OCMS-1)を構築し、新病院改築と同時に外来、病棟のオーダーエントリー及全部門の情報システムの稼働を行った。放射線部門においても全撮影検査、放射線治療、核医学検査のオーダーリングシステムを開発した。

〈2 システムの概要〉(図1)はシステムの全体構成を表わしたものです。ホストコンピュータは2台の富士通M-770を使用し、光ランを介して5台のサブコンピュータと約800台の端末、約700台のプリンターを配置したオンラインネットワーク分散処理システムを採用した。放射線部門は富士通K-6900サブホストを使用し、73台の端末と66台のプリンターを配置した。

〈3 放射線エントリーシステム〉(図2)はオーダー展開を示したものです。オーダー申込医師は検査指示選名を選択すると、引き続き検査名又は部位、付属情報項目の画面が自動展開され、順次選択入力することによりオーダーが完成する。又患者には検査行き先案内用紙が自動発行され、渡される。前処置薬が必要な検査は検査オーダー時、処方箋が自動オーダーされ、薬局、医事課に転送されます。検査申込時、検査日の重なり、造影剤の排出時間を考慮して検査間に障害期間を設定し、検査間の禁則処理を実施した。

(図1 全体構成)

〈4 検査実施システム〉 (図3 オーダー展開図表)

(図3)は基本的な患者の流れとコンピュータ処理の流れを示したものです。中央受付で診察券をカードリーダーで読み取り、その日の放射線全検査を表示し、患者の行き先案内を行い、同時に単純検査の受付処理を行います。単純以外の検査は各検査窓口で受付処理をします。検査室では受付済み患者一覧画面より患者を選択、或はバーコードで読み取ると、フィルム実施入力画面に変わり、同時に患者基本情報が撮影装置、画像処理機に転送されます。撮影装置からは必要なデータが端末に送られ使用造影剤、薬剤、器材を入力して検査終了後、医事課へ転送し、検査を終了します。フィルム袋ラベルの発行は各検査部門で、患者受付処理後或はフィルム入力確定後自動発行します。撮影フィルムは至急現像であれば各診療科へ、その他は病歴室、病棟へ搬送します。

〈5 結果〉1、オーダーエントリーシステムは患者を情報の伝達者として使用しないように構築し、伝票オーダー時に比べてオーダー情報の伝達が正確になり、円滑化が促進され、かつスピードアップされ、患者サービスの向上が図られた。前処置処方箋の自動化、検査間に禁則期間の設定を行ったので入力の簡略化、省力化になった。2、放射線全部門をシステム化及撮影機器とのオンライン接続を行い、放射線管理業務、事務処理の簡便化、軽減化が図られた。3、分散処理システムを行い、時間外処理、サブホストダウン時にも対処できるようにした。